

## 2021 年度 女子バスケットボール部 メンバーインタビュー

### 部員数

21～40人

### 所属学群

体育専門学群, 情報学群, 医学群

### 練習場所

中央体育館バスケットボール場

### 主な成績

第70回関東大学女子バスケットボールリーグ戦 3位

第72回全日本大学バスケットボール選手権大会 3位

第55回関東大学女子バスケットボール選手権大会 準優勝

池下 桃佳(体育3年)

加藤 晏澄(体育2年)

### — 私が目指す「バスケ」

#### 池下

特別な仲間と創る「バスケットボール」。全国各地からこの筑波大学に集まった特別な仲間、特別なスタッフさん方と共に創る他のどこにもない唯一の筑波大学のバスケットボールを目指しています。

#### 加藤

今年は、主体的に行動し、選手たちでチームを作り上げるという意味を込めて「新取果敢」というスローガンを掲げ、「日本一」に向けて日々の練習に励んでいます。激しいディフェンスから、テンポの速いアグレッシブなオフェンスを展開する筑波らしい「バスケットボール」で勝つことを目指しています。



## — 筑波大学をどう思っていた？

加藤

筑波大学の体育専門学群には、運動能力の高い人ばかりが集まっていると思っていました。実は、私はそこまで運動が得意じゃないので、はじめは筑波大学に行くことを考えてもいませんでした。しかし、「バスケットボール」を学べる日本一の大学に憧れ、高校の担任の先生に背中を押してもらったこともあり、筑波大学の受験を決めました。

池下

自分にとって、勉強や部活、将来の夢に向けてなど、自分のやりたいことに全力で取り組める環境が整っているだけでなく、自分の視野を広げる様々な分野のエキスパートがいる大学だと思っていました。

## — 今のチームで学んだこと、チームの好きなところ

池下

チームというものの考え方や、それぞれの役割・責任感、自己管理の大切さについて学びました。また、レベルの高い指導を受けることが出来る上に、考えながらプレーする機会が増えるために、バスケットボールという競技に対する理解も深まりました。このチームの好きなところは、先輩後輩の仲がとてよく、楽しい時はみんなで楽しくメリハリをもって互いに切磋琢磨することで強くなっていけることです。



加藤

私は、このチームの全員を本当に尊敬しています。全員が直向きに頑張れる、努力できる人たちだからです。そんな人たちに囲まれて毎日練習できる環境は、私にとってすごく刺激になっています。このチームに入って、一つの目標に向かって真剣に努力することの魅力に改めて感じて

います。だからこそ、目標である「日本一」を実現して、大好きなチームメイトと喜びを分かち合いたいです。

## — これからの目標(直近の目標、人生の目標)

池下

バスケットにおいては、去年遂げることの出来なかったインカレ優勝をチームで成し遂げること、学業においては、将来の夢である国際力を兼ね備えた体育科教員になるために、英語を習得して大学院に進学することです。

加藤

「日本一」になることが1番の目標です。私は、Bチームなのでプレーで貢献することはなかなかできないかもしれませんが、とにかくチームが「日本一」になるために、できることはできるだけやります。

そして、引退後には、今までの経験や学びを活かして、より多くの子どもたちにバスケットボールの楽しさを伝えられるような指導者になりたいです。

## — 未来のチームメイトに一言

池下

他の国公立大学ではなかなか見られない最高の環境、高いレベルの指導を受けながら、最高の仲間と切磋琢磨しながら自分を高めることが出来る部活です。自分を少しでも成長させたい、大学生活を充実したものにしたい、新しいことに挑戦してみたい、そんな皆さんの入部を部員一同楽しみにしています！

加藤

「日本一」という目標の達成は、簡単ではありません。しかし、この目標に向かって真剣になって毎日の練習に取り組んだり試行錯誤していくなかで、今までにはできなかったような経験がたくさんできると思います。「日本一」という最高の瞬間に向かって、一緒にがんばりましょう！

